



ゆう&あい

5月号
平成25年
4月24日発行

優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛

播磨町ボランティアセンター・播磨町善意銀行
発行所：社会福祉法人 播磨町社会福祉協議会 TEL079(435)1712

介護支援ボランティア養成講座・夏コース 参加者募集

地域で高齢者を支えるしくみづくりと、ボランティア活動を通じた生きがいづくり・介護予防の推進をめざして、介護支援ボランティア養成講座を行います。

講座内容 (全4回) 13:30～15:30

- 6月4日(火)・ボランティア活動の基本
・播磨町の介護保険の現状と高齢者の理解
- 6月18日(火)・基礎介護技術～外出、移動の支援～
- 7月2日(火)・認知症の理解と支援
(※認知症サポーター養成講座と共通)
- 7月16日(火)・ボランティア活動の実践を聴く

場 所 播磨町福祉しあわせセンター

募集人数 20名程度 費用 無料

申込み 5月27日(月)までに下記までお申込み下さい。

播磨町地域包括支援センター TEL.079(435)1841

終了後は、デイサービスでお話やレクリエーションの相手などの活動に参加していただけます。まずは学んでみたいという方も、関心のある方はどなたでもどうぞ。



秋コース…10月
冬コース…2月
開講予定
※内容は全日程共通

第18回福祉大会のお知らせ

播磨町社会福祉協議会では、第29回健康福祉フェアと同時開催で、福祉大会の開催を予定しています。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

4/29
(月・祝)

【日 時】平成25年4月29日(月・祝)

午前9時～午後3時

【場 所】播磨大中国古代の村(大中遺跡)

【内 容】要約筆記体験・手話体験・点字体験
ガイドヘルプ体験・車イス体験・子供の昔遊び



春が届きました



はりまデザインラボから、東はりま特別支援学校の生徒さんや地域の子どもたちによる「花でつなぐプロジェクト」によって育てられた花を、福祉しあわせセンターにも届けていただきました。満開を迎え、今まさに春爛漫です。

伝言板

このページに関する問合せは
播磨町社会福祉協議会
TEL.079-435-1712
E-Mail info@harima-wel.or.jp

心配ごと相談

秘密厳守

- 日時 毎週火曜日 13時～16時
- 場所 福祉しあわせセンター

◎法律相談をご希望の方は、事前に心配ごと相談をお受けください。

法律相談

弁護士により
月1回、実施します。
成年後見制度のご相談も
お受けします。

知的障害者(児)相談

- 日時 第2土曜日 10時～11時30分
- 場所 石ヶ池パークセンター

おもちゃルーム “きらきら” い～つばいのおもちゃで遊ぼう 5月の開設日

- 日時 5月2日(木)・18日(土) 10時～12時
- 場所 播磨町福祉会館



子育て相談

- 日時 5月27日(月) 13時30分～16時
- 場所 福祉しあわせセンター
主任児童委員が
ご相談をお受けします。

福祉相談

- 日時 5月1日・8日・15日
22日・29日(水)
13時30分～16時
- 場所 福祉しあわせセンター
民生委員・児童委員が
ご相談をお受けします。

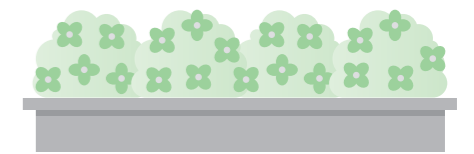
困りごと相談

秘密厳守

- 日時 5月9日・23日(木)
- 場所 福祉しあわせセンター
播磨町人権擁護委員が
ご相談をお受けします。

認知症家族の会 懇談会

- 日時 5月11日(土) 13時30分～15時30分
- 場所 福祉しあわせセンター



寄付者ご芳名

(所得税法第78条第2項第3号該当 法人税法第37条第2項及び第3項第3号該当)

あたたかい善意ありがとうございました。
(平成25年3月10日～4月9日)

●福祉のために

地区名		氏名	金額
大 中 東	匿 名		5,000円
大 中 東	匿 名		5,000円
新 池	匿 名		3,000円
宮 西	匿 名		3,500円
古宮第3	匿 名		2,000円

(団体の部)

団体名	金額
播磨町軟式野球協会	20,605円
大阪ガス株式会社 小さな灯運動兵庫支部	20,000円
播磨町連合婦人会	5,105円

●供 養

地区名	氏名	備考
本 庄 東	堀 絹 代	亡夫供養

●今月の払出状況

子どものいない老人誕生祝い	12,000円
---------------	---------

善意銀行だより

大阪ガス(株)小さな灯運動兵庫支部より、社員等の皆さんが購入したカレンダーの売上金の一部を、播磨町の福祉活動にお届けいただきました。



平成25年度 予算

科目の説明

会費収入：町内の世帯を対象にした社協一般会費、および市内外の個人・団体・事業所に協力いただく特別会費

寄付金収入：法人・善意銀行へ預託いただく寄付金

経常経費補助金収入：播磨町や兵庫県社協からの補助金

受託金収入：介護予防事業など町から委託を受けた事業の委託金

事業収入：給食サービスなど社協独自の福祉サービスの利用者負担金

貸付事業収入：社協の小口貸付金の償還金

共同募金配分金収入：ご協力頂いた「赤い羽根共同募金」及び歳末たすけあい事業の配分金

負担金収入：ボランティアセンターや福祉会館が主催する講座の受講料

介護保険収入：介護保険サービスの介護報酬や利用者負担金など

自立支援費収入：障害福祉サービスの介護給付費収入や利用者負担金

利用料収入：町から受託して実施する障害者デイサービスの収入

補助事業等収入：障害福祉の処遇改善事業助成金

当期資金収支差額合計：
単年度予算の収支残高

前期末支払資金残高：
前年度末の繰越額

当期末支払資金残高：
当年度末の残高予算額

資金収支予算計算書【法人総合】

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科目 / 会計区分	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減
〔経営活動による収支〕			
会費収入	4,650	4,670	△20
寄附金収入	1,067	6,097	△5,030
経常経費補助金収入	24,699	24,737	△38
受託金収入	75,946	73,963	1,983
事業収入	3,023	2,783	240
貸付事業等収入	160	160	0
共同募金配分金収入	4,546	4,557	△11
負担金収入	509	595	△86
介護保険収入	122,660	125,696	△3,036
自立支援費等収入	30,611	28,720	1,891
補助事業等収入	0	657	△657
利用料収入	5,084	5,702	△618
雑収入	1,172	1,290	△118
受取利息配当金収入	28	30	△2
会計単位間繰入金収入	1,301	1,313	△12
経理区分間繰入金収入	9,094	10,808	△1,714
経常活動収入計①	284,550	291,778	△7,228
人件費支出	199,101	184,103	14,998
事務費支出	32,887	30,152	2,735
事業費支出	50,757	48,561	2,196
貸付事業等支出	300	300	0
助成金支出	4,861	4,872	△11
負担金支出	15,902	131	15,771
会計単位間繰入金支出	1,301	1,313	△12
経理区分間繰入金支出	9,094	10,808	△1,714
経常活動支出計②	314,203	280,240	33,963
経常活動収支差額③=①-②	△29,653	11,538	△41,191
〔施設整備等による収支〕			
施設整備等収入計④	2,431	2,431	0
施設整備等支出計⑤	49,390	3,702	45,688
施設整備等収支差額⑥=④-⑤	△46,959	△1,271	△45,688
〔財務活動による収支〕			
財務活動収入計⑦	92,714	20,000	72,714
財務活動支出計⑧	22,314	47,451	△25,137
財務活動収支差額⑨=⑦-⑧	70,400	△27,451	97,851
予備費⑩	4,000	6,111	△2,111
当期資金収支差額合計 ⑪=③+⑥+⑨-⑩	△10,212	△23,295	13,581
前期末支払資金残高⑫	72,005	93,830	△21,825
当期末支払資金残高⑬=⑪+⑫	61,793	70,535	△8,742

平成25年度 事業計画

急速な高齢化、少子化が進み、核家族化や単身世帯が増加する一方で、地域では、児童や高齢者、障害者に対する虐待や自殺の問題、また孤立死や引きこもりなど、様々な生活課題が起こっています。また、単身世帯や高齢者世帯が増加し、生活困窮や社会的孤立が課題となる中、要援護者を地域で見守るなど、多様な生活支援の取り組みが求められています。

このような情勢を背景に、平成24年10月、全国社会福祉協議会より今日的な地域福祉の課題に応える社会福祉協議会の活動の方向性と具体的な事業展開について示した「社協・生活支援活動強化方針」が打ち出されました。

また、兵庫県下においては、「無縁社会」への警鐘を鳴らし、お互いを認め合い、ともにつながり、支え合える社会づくりに向けて、「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンが展開されています。

このような状況や取り組みを背景に、当社会福祉協議会では、次の事業方針を掲げ、平成25年度の事業を推進します。



事業方針

1. 地域福祉の推進

「小さなまちの大きなおうち ～ふれあい 語りあい ささえあいの地域（まち）づくり～」を目標に、社会福祉協議会の特性である「協議体」・「運動推進体」の機能を発揮し、自治会をはじめとする地域の団体・町行政や民生委員児童委員協議会といった機関と地域づくりについて話しあい、播磨町が1つの家であるかのように、ふれあい、支えあい、いつまでも安心して暮らせるように地域福祉の推進に努めます。

2. 利用者本位の福祉サービスの提供

社会福祉協議会の特性である「事業体」の機能を発揮し、利用者および介護者本位の視点に立ったサービス提供に努めるとともに、個別支援を通じて地域の課題やニーズに気づき、現状の福祉サービスの改善や新たな取り組みにつないでいきます。



重点目標

- 第4次地域福祉推進計画の平成25年度年次計画の実施により
 - 自治会エリアでの見守り、支えあいの仕組みづくり
 - 地域での見守り・支えあい活動を支援できる社会福祉協議会に取り組みます。
- ボランティア活動および福祉教育の推進を行います。
- 利用者が安心して地域の中で暮らしていく支えとなるよう、事業者として質の高い福祉サービス提供に努めます。
- 3施設の指定管理者として、最終年も効率的な運営を行うとともに、次期においても指定管理者として住民の福祉の向上に寄与できるよう取り組みます。

戸外には桜が咲き、新年度を迎えました。学校では入学式があり、新入生と父母が緊張した面持ちで、真新しい服を装着して歩いており、暖かな日差しとともに新鮮な空気が漂っている春の日でした。

町内を走っていると交差点で転んでいるお年寄りの方がいました。周囲には人がなく、買い物袋から荷物が散乱し、自転車が追いかぶさるようになっており、直ぐには起き上がれないといった様子でした。

「大丈夫ですか？怪我はありませんか？」と駆け寄り、声をかけると小さな声で「大丈夫です」と返事がありました。自転車を起こし移動させていると、転んでいる方と同年代の方が駆け寄って「大丈夫か？」と声をかけてくれました。

駆け寄ってきた時には気づきませんでした。駆け寄る、声をかけると小さな声で「大丈夫です」と返事がありました。自転車を起こし移動させていると、転んでいる方と同年代の方が駆け寄って「大丈夫か？」と声をかけてくれました。

転んでしまった方に、幸い怪我もなかったようで、再び、自転車に乗り立ち去っていききました。

昨年夏まで東京にいたのですが、都会では立ち止まる人はいても、見ず知らずの方へ手助けをしてくれる方は少数です。ましてこの度は、どちらかといえば自身も支援を要するような方が、他人の転んでいる姿を見て、手助けしてくれました。春の暖かさとともに、暖かい心遣いが、素敵な出来事として感じるひと時でした。(福)

